

## はじめに

宗像市郷土文化学習交流館「海の道むなかた館」は、宗像市の博物館として、また、平成29年7月に世界文化遺産に登録された『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」のガイダンス施設としての役割を担っております。平成31年2月には、平成24年4月の開館以来、入館者数が100万人を突破しました。これもひとえに、多くの皆さまのおかげだと思っています。感謝申し上げます。

宗像市は、海・川・山といった豊かな自然と田畑に恵まれ、原始・古代から近・現代まで、たゆまぬ歴史を刻み、歴史的な文化遺産は、市内各所に数多く大切に保存されています。

当館では、それらの貴重な文化遺産を次世代に守り伝えるべく、まずは基礎的な調査・研究を行っています。また、その成果を展示や講座などを通じて、市民の皆さまの関心を高め、かつ、楽しんでいただけるように心がけて参りました。

そして、未来を担う子どもたちに、郷土の歴史や文化を楽しみながら学んでもらおうと、勾玉づくりをはじめとした古代体験の提供や、未来を見据えて先端技術を学ぶロボット工作体験なども用意して参りました。

このように、博物館としての機能を充実させる一方、世界文化遺産「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の保存・活用の活動拠点施設として、沖ノ島の臨場感あふれる3D映像やVR（バーチャル・リアリティ）映像、各種展示物などを提供しています。その他にも、1年間を通じて四季折々に各種イベントを実施し、市内外の皆さまの交流の場として活用されています。

また、世界文化遺産・宗像大社は、宗像市はもとより、日本や東アジアの歴史の理解に欠くことのできない存在です。当館が宗像大社の一つ、辺津宮の北側に隣接しているという地の利を生かして一体的に発展していくことを願っています。

開館から7年を経過した当館の運営を振り返りますと、市内外の多くの人々に親しまれ、愛されてきたことを実感しますとともに、地域学芸員の皆さまの献身的で精力的なボランティア活動に頭が下がる思いです。この場を借りて感謝申し上げます。

私たち館員一同は、引き続き一丸となって、常に新しく、また、理想的な博物館像を模索しながら、市民の皆さまのご期待に添えるよう、さらに努力を重ねて参ります。私たちの活動に対しまして、皆さまの一層のご理解とご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

令和元年9月1日

海の道むなかた館

館長 西谷 正

# 目次

<b>1</b> 海の道むなかた館の概要	4. 正月イベント . . . . . 16
1. 建設から現在に至る経緯 . . . . . 1	5. むなかたものづくり展 . . . . . 16
2. 沿革 . . . . . 1	6. ミュージウムコンサート . . . . . 17
3. 館の目的・機能 . . . . . 2	
4. 館の利用案内 . . . . . 2	<b>7</b> 他のイベントとの連携
5. 館の主要施設概要 . . . . . 3	1. 福岡県立宗像中学校・高等学校文化祭 . . . . . 18
	2. 玄海わくわくチャレンジデー . . . 18
<b>2</b> 管理運営体制	
1. 組織 . . . . . 4	<b>8</b> むなかた電子博物館
2. 宗像市郷土文化学習交流館協議会 . . 5	1. 月間ページビュー . . . . . 18
3. 平成30年度決算 . . . . . 6	2. イベントの開催 . . . . . 18
4. 宗像市郷土文化学習交流館建物概要 . . . . . 6	
	<b>9</b> 文化財保護事業
<b>3</b> 展示	1. 埋蔵文化財 . . . . . 19
1. 常設展示室 . . . . . 7	2. 指定文化財の新指定・現状変更 . . 19
2. 特別展示室 . . . . . 8	3. 文化財の調査 . . . . . 20
3. 特別展「漫画×考古学『宗像教授帰省録』」 . . . . . 8	4. 田熊石畑遺跡歴史公園の利活用状況 20
4. 第2展示室 . . . . . 9	
5. 3Dシアター . . . . . 10	<b>10</b> 新修宗像市史編さん事業
	1. 宗像市史編さん審議会 . . . . . 22
<b>4</b> 体験学習	2. 新修宗像市史編集委員会 . . . . . 22
1. 古代体験学習 . . . . . 11	
2. 特別体験学習 . . . . . 12	<b>11</b> 統計
	1. 平成30年度月別入館者数 . . . . . 23
<b>5</b> 講座	2. 年度別・入館者数の推移 . . . . . 23
1. 館長講座 . . . . . 14	3. 年度別・一般および団体入館者数の割合 . . . . . 23
2. 西谷館長ギャラリートーク . . . . 15	4. 平成30年度市内小・中学校入館者数 . . . . . 24
3. 出前講座（ルックルック講座） . . . 15	5. 平成30年度団体入館者数 . . . . . 25
	6. 年度別・団体別入館者数の推移 . . 25
<b>6</b> 各種イベント	7. 年度別・団体別入館者数の割合 . . 25
1. ゴールデンウィーク特別体験学習 . . . . . 16	
2. 夏の課外授業（夏休み特別体験学習） . . . . . 16	<b>12</b> 参考資料
3. 宗像大社みあれ祭陸上神幸 . . . . 16	1. 平成30年度「海の道むなかた館」 年間スケジュール . . . . . 26
	2. 館内案内図 . . . . . 28

# 1 海の道むなかた館の概要

## 1. 建設から現在に至る経緯

宗像市郷土文化学習交流館「海の道むなかた館」は、玄海文化センター「アクシス玄海」という多目的な文化施設を改修することで生まれ変わった施設である。

アクシス玄海は、平成4年に観光物産館・文化施設として開館。宗像大社辺津宮に隣接し、多くの集客があった。平成10年には、観光物産館を改装し、地産地消をモットーに地元の魚介類や農産物の直売所として集客を誇った。その後、平成20年に道の駅むなかたのオープンによって物産館の機能が移転され、アクシス玄海の機能は、文化ホール、図書館、会議室、文化財の整理室として継続されることとなった。また、管理主体は、開館以来、旧玄海町及び宗像市の直営であったが、平成18年4月から平成23年3月までは地元の田島地区コミュニティ運営協議会（当時）が管理運営に携わっていた。

平成22年7月、宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画を策定し、その2年後の平成24年4月28日、海の道むなかた館が開館する運びとなった。

平成29年7月、ポーランドで開かれた世界遺産委員会において、「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」が世界文化遺産に登録決定した際には、当館でパブリックビューイング（7月9日、インターネットによる実況中継）を実施。約400人が参加し、歓喜に沸いた。

平成31年2月、平成24年4月の開館以来、入館者数が100万人を突破した。

## 2. 沿革

平成4年(1992)	5月	玄海文化センター「アクシス玄海」開館
平成21年(2009)	9月	宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画ワーキング会議の設置 宗像市郷土文化学習交流施設基本計画連携推進委員会の設置
	10月	宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画策定業務委託の着手
平成22年(2010)	5月	パブリックコメントの実施
	7月	宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画の策定
	9月	宗像市郷土文化学習交流施設展示ホールほか実施設計委託の着手
平成23年(2011)	3月	宗像市郷土文化学習交流施設展示ホールほか実施設計委託の完了
	6月	第1期地域学芸員養成講座（初級）の開講
	7月	宗像市郷土文化学習交流施設愛称募集（市民公募）
	8月	宗像市郷土文化学習交流施設展示ホールほか改修工事の着工
平成24年(2012)	12月	宗像市郷土文化学習交流館条例の制定 「海の道むなかた館」に愛称決定
	3月	宗像市郷土文化学習交流施設展示ホールほか改修工事の竣工 「海の道むなかた館」商標原簿に登録
	4月	海の道むなかた館の内覧会（4月21日） 海の道むなかた館の開館（4月28日）
平成25年(2013)	9月	第1期地域学芸員養成講座（中級）の開講
	5月	海の道むなかた館西館改修外工事の着手
	6月	海の道むなかた館西館改修外工事の竣工
平成25年(2013)	7月	海の道むなかた館周辺整備工事の着工
	10月	第2期地域学芸員養成講座（初級）の開講

平成26年(2014)	3月	海の道むなかた館周辺整備工事の竣工
	11月	第2期地域学芸員養成講座(中級)の開講
平成28年(2016)	9月	国際記念物遺跡会議(イコモス)視察調査
平成29年(2017)	7月	第41回世界遺産委員会パブリックビューイング(世界遺文化産登録決定)
平成30年(2018)	1月	沖ノ島VR映像を導入(NTTドコモ提供)
	3月	展示室に大型スクリーン設置
	10月	第3期地域学芸員養成講座の開講
平成31年(2019)	2月	入館者数100万人を達成
		景観マッピングビジョン、世界遺産解説コーナーなどの設置

### 3. 館の目的・機能

「宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画」では、館の理念を3つ掲げる。

- ①歴史文化の継承
- ②市民と協働し、連携する地域還元型の施設
- ③市域の自然や歴史文化を結ぶコア施設

これらを受け、次の4つの機能を軸にして、館の運営を行う。

#### ● 博物館機能

「海の道」というテーマのもとに、玄界灘の玄関口として、古代から大陸文化との交流の窓口になった宗像について、歴史や文化を時代ごとに展示する構成である。

常設展示施設(旧石器時代から現代まで)、企画展示ブース、特別展示室を通じて、宗像の歴史の歩みをわかりやすく解説する。

#### ● 世界遺産ガイダンス機能

平成29年7月に世界文化遺産に登録された「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」について、3Dシアター、VR、大型スクリーン、景観マッピングビジョン、デジタルサイネージ、展示などを活用し、解説する。

#### ● 体験学習機能

勾玉づくり、土笛づくり、火おこし、古銭製造などの古代体験メニューをそろえ、子どもから大人まで幅広く楽しめる体験学習を実施する。

#### ● 交流館機能

過去・未来・現代をつなぐコンセプトとして「ものづくり」を提唱。過去のものづくりとして、歴史的な道具の変遷(常設展示等)、現在・未来については、ロボットの進化(株式会社テムザック)やクルマづくり(トヨタ自動車九州株式会社)などの展示を解説する。

また、喫茶コーナーとしてショップ「宗像蒼の社」を営業し、休憩スペースも設置している。

なお、歴史文化の中核施設としてグランドオープンした国史跡・田熊石畑遺跡(歴史公園・いせきんぐ宗像)や、装飾古墳である桜京古墳をはじめ、宗像大社、鎮国寺など周辺施設と連携した事業を展開する。

### 4. 館の利用案内

#### ● 開館時間

9:00～18:00

#### ● 休館日 ※臨時で休館・開館する場合あり

- ・月曜日(月曜日が祝日・振替休日にあたる時は、その翌平日)
- ・12月29日～翌年1月3日

## ● 入館料

無料（特別展示等において有料の場合あり）

## ● 交通アクセス

## 【車で】

・九州自動車道・若宮インターから約30分、古賀インターから約30分

## 【公共交通機関で】

- ・西鉄バス「東郷駅前」バス停から、宗像大社経由・[1] 神湊波止場行き、  
または[1-2] 光陽台六丁目行きバス（約11分）、「宗像大社前」下車
- ・天神方面からは、特急バスむなかた号で「宗像大社前」下車

## 5. 館の主要施設概要

郷土文化学習交流館		
施設名	面積	摘要
<b>【1階：展示】</b>		
風除室	33㎡	ホールへの外気の進入を防ぐ
郷土文化課事務室	70㎡	総合案内、郷土文化係及び文化財係事務室
エントランスホール	397㎡	ショップ「宗像蒼の社」、世界遺産紹介
ロッカー室	10㎡	来館者用ロッカー
常設展示室	386㎡	宗像の歴史展示、世界遺産関係展示、企画展示
重要文化財展示室	53㎡	田熊石畑遺跡出土青銅器等の重要文化財を展示
荷解室	25㎡	収蔵品や借用展示品の梱包や荷解きを行う
前室	14㎡	収蔵品や借用展示品を展示室の環境に慣らす
重要文化財収蔵庫	25㎡	重要文化財等の収蔵
3Dシアター	33㎡	沖ノ島紹介3Dシアター・VR
ボンベ室	8㎡	重要文化財展示室及び収蔵庫の消火設備
体験学習室	244㎡	宗像地域の自然、歴史、文化等を活用した体験学習等実施
土器復元室	42㎡	埋蔵文化財復元作業等を行う
倉庫	25㎡	体験学習関係（勾玉づくり、土笛づくり等）道具・材料の収納
トイレ	77㎡	男女トイレ、多目的トイレ
<b>【1階：図書館・講義室】</b>		
宗像市民図書館深田分館	423㎡	郷土の歴史、自然、文化等関係書籍を充実
第2展示室	110㎡	企画展示や絵画展示を行う
講義室	134㎡	各種講座等の開催
館長室	33㎡	館長室
新修宗像市史編さん事務局事務室	50㎡	新修宗像市史編さん事務局事務室
清掃員控室	15㎡	清掃員の控室及び休憩室
埋蔵文化財整理室	100㎡	文化財整理作業
ボランティア控室	59㎡	地域学芸員等のボランティア活動スペース
授乳室	3㎡	図書館横授乳室
トイレ	40㎡	図書館横トイレ
<b>【2階】</b>		
図書整理室	96㎡	図書整理室
図書準備室	69㎡	図書準備室
埋蔵文化財関係書庫	69㎡	酒井文庫、文化財報告書等の収蔵
郷土資料関係倉庫	31㎡	市史編さん関係資料等の収蔵
<b>【地階：収蔵庫】</b>		
収蔵庫	367㎡	文化財調査出土品等の収蔵
収蔵庫	41㎡	文化財調査出土品等の収蔵
機械室	25㎡	ホール用空調設備機器設置
倉庫	10㎡	文化財関係書類等保管
収蔵庫	17㎡	文化財調査出土品等の収蔵

## 2 管理運営体制

### 1. 組織

#### (1) 平成30年度 館の機構

館長 西谷 正

#### 市民協働環境部 郷土文化課

課長 吉原 賢治

##### ○館管理運営業務

郷土文化係

主幹兼係長 青木 隆一

企画主査 安部 裕久

主任主事 井上 賢司

技 師 坂本 雄介

技 師 磯部 真生

非常勤任用職員 鎌田 隆徳  
(学習指導員)

##### ○文化財業務

文化財係

参事兼係長 白木 英敏

主任技師 山田 広幸

技 師 田子森千子

技 師 豊崎 晃史

技 師 池田 拓

技 師 佐藤 正義

再任用職員 原 俊一

##### ○新修宗像市史編さん業務

局 長 花田 勝信

主 査 判田 博明

非常勤任用職員 須佐 弘美

非常勤任用職員 亀崎 敦司

#### (2) 地域学芸員

海の道むなかた館では、平成23～26年度に実施した第1期及び第2期地域学芸員養成講座の修了者71人が市民ボランティア「地域学芸員」として、館の展示解説や体験学習指導、地域遺産調査などを担っている。市では、地域学芸員の1回の活動に対して1,000円の特別旅費(4時間以上の活動については別途、報償費)を支払っている。

なお、平成30年度は「第3期地域学芸員養成講座」を開催。新たに24人の地域学芸員が仲間入りをした。

##### ○平成30年度活動状況

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	165	175	218	179	184	187	182	186	212	212	167	230	2,297

## 2. 宗像市郷土文化学習交流館協議会

宗像市郷土文化学習交流館条例に基づき、教育関係者、学識経験者、市民代表等で構成された委員が、館の運営に関し、必要項目を審議する機関である。

### 第1回宗像市郷土文化学習交流館協議会

日程：11月22日(木)

会場：海の道むなかた館・講義室

議題：(1)新委員の紹介

(2)平成29年度宗像市郷土文化学習交流館事業報告について

(3)平成30年度宗像市郷土文化学習交流館事業(4月～9月)について

(4)地域学芸員に関する取り組みについて

(5)特別展「漫画×考古学『宗像教授帰省録』」の実施について

(6)『『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群』について

### ○宗像市郷土文化学習交流館協議会委員名簿

任期：平成29年3月1日～平成31年2月28日

(\*)…委員交替により任期は平成30年11月22日から

	区 分	氏 名	役 職 等
1	学校教育及び社会教育の関係者	松井 安彦(*)	福岡県立少年自然の家「玄海の家」所長
2		藤 周作	宗像市立河東小学校教頭
3	家庭教育の向上に資する活動を行う者	牟田 貴美子	自由ヶ丘地区コミュニティ運営協議会 青少年育成部会会長
4	学識経験者	亀井 輝一郎	福岡教育大学名誉教授
5		河窪 奈津子	宗像大社神宝館文化財管理局学芸員
6	市民代表	田島 信之(*)	玄海地区コミュニティ運営協議会会長
7		園元 かをり	市民公募(海の道むなかた館地域学芸員)

### 3. 平成30年度決算

(単位：円)

海の道むなかた館予算	展示活用事業費	管理運営費
報酬	1,800,000	3,630,400
共済費	291,242	19,344
賃金	—	2,270,775
報償費	465,666	—
旅費	2,749,600	14,000
需用費	1,838,756	11,120,597
役務費	427,342	469,215
委託料	5,419,120	12,858,113
使用料及び賃借料	1,474,180	420,773
工事請負費	—	1,743,549
備品購入費	—	936,440
負担金・補助及び交付金	10,000	—
決算額	14,475,906	33,483,206

### 4. 宗像市郷土文化学習交流館建物概要

所在地	福岡県宗像市深田588番地
階数構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨構造／地上3階／地下1階
敷地面積	11,082.02㎡
用途地域	準都市計画区域内(平成24年4月1日現在)
既存建物床面積	3,973.26㎡
既存建物建築面積	2,934.38㎡
既存建物竣工年月日	平成4年3月31日
現建物床面積	3,901.42㎡
現建築面積	2,978.85㎡

## 3 展示

### 1. 常設展示室

いにしえより、人や物が絶え間なく往来した玄界灘を舞台に、悠久の歴史を刻んできた宗像。この宗像の人々が活躍した玄界灘の交易に着目し、「海の道」をテーマに宗像市における旧石器時代から現代までのさまざまな「道」について紹介する。



#### ○展示物

##### 【ヒトの来た道】

時 代：旧石器時代～縄文時代

展示物：(旧石器時代) 池浦トボシ遺跡出土ナイフ形石器、田野瀬戸遺跡出土旧石器など  
(縄文時代) さつき松原遺跡出土曾畑式土器、鐘崎(上八)貝塚出土鐘崎式土器、縄文土器復元レプリカ、縄文人形など



##### 【稲作文化が渡った道】

時 代：弥生時代

展示物：東郷登り立遺跡出土弥生土器・紡錘車、須恵クヒノ浦遺跡出土炭化米、光岡長尾遺跡出土石包丁をはじめ市内遺跡出土の磨製石斧、久原遺跡銅剣・銅矛レプリカ、弥生人形など



##### 【最先端技術が渡った道】

時 代：古墳時代

展示物：富地原川原田遺跡出土土器(甕、手づくね土器、台付鉢など)、大島大岸遺跡出土移動式竈、大井三倉遺跡出土須恵器甕、大井三倉遺跡出土須恵器高坏など



##### 【半島・大陸との交流の道】

時 代：古墳時代

展示物：朝町山ノ口遺跡出土鉄鉗、野坂一町間遺跡出土鉄滓、久原遺跡Ⅱ区3号墳出土埴輪、久原瀧ヶ下遺跡出土コップ形土器、東郷高塚古墳出土勾玉・管玉、牟田尻中浦古墳群飾履レプリカ、古墳人形など



##### 【拡大する海外交易の道】

時 代：奈良時代～室町時代

展示物：武丸大上げ遺跡出土鬼瓦、久原遺跡出土陶磁器など



##### 【街道と海女の道】

時 代：安土桃山時代～

展示物：赤間宿跡出土遺物(屋号銘入り徳利、染付碗など)、海女道具一式(県指定文化財)など

## 2. 特別展示室

時代：弥生時代

展示物：田熊石畑遺跡出土武器形青銅器・装身具・復元レプリカ、光岡長尾遺跡出土土笛、田久松ヶ浦遺跡出土土器・磨製石剣・磨製石鏃、土笛を吹く少女人形

## 3. 特別展「漫画×考古学『宗像教授帰省録』」

会期：1月1日(火・祝)～2月17日(日)

入館料：無料

主催：宗像市教育委員会

共催：宗像市

協賛：日本航空、道の駅むなかた

協力：北九州市教育委員会、八女市教育委員会

後援：RKB毎日放送、NHK福岡放送局、FBS福岡放送、

KBC九州朝日放送、TVQ九州放送、

TNCテレビ西日本、西日本新聞社

入館者数：20,617人【48日間】



### ○歴史イラストコンテスト

応募総数：103通

受賞者：最優秀賞 松尾 仁美さん／タイトル「復元」  
優秀賞 藤本 恵美さん／タイトル「土笛」  
優秀賞 津田まりもさん／タイトル「武人」  
入賞 野々下一郎さん／タイトル「はじめての塩づくり」

### ○作者・星野之宣氏来館イベント

日程：1月20日(日)

内容：トークイベント

歴史イラストコンテスト表彰式

参加者数：170人



▲『宗像教授帰省録』の展示の様子（特別展示室）

## 4. 第2展示室

### (1) 納富賢治作品寄贈記念展示会

内容：宗像市に寄贈された納富賢治氏の考古学の遺物をモチーフとした作品を展示

会期：2月20日(火)～4月30日(月・振休)

### (2) 第1回西谷館長写真展

内容：海の道むなかた館長・西谷正が撮影した写真展。テーマは「高句麗の山城」

会期：5月1日(火)～7月26日(木)

### (3) 日伊文化交流作品展

内容：福岡教育大学との連携事業。イタリアのレッジョ・エミリア市と宗像市内の小・中学生の絵画を展示

会期：7月27日(金)～9月2日(日)

### (4) 第5回滝純一絵画作品展

内容：福岡教育大学名誉教授・滝純一氏の絵画作品の中から馬をテーマに「聖馬は眠る」(2006年)、「騎士物語(聖馬)」(2007年)、「聖馬」(2007年)などを展示

会期：9月11日(火)～10月28日(日)



▲ 日伊文化交流作品展

### (5) 「わたしたちの水」絵画コンクール作品展示

内容：“かけがえのない水”をテーマに実施した絵画コンクールで、宗像・福津市の小学4～6年生の入選作品を展示

会期：11月1日(木)～25日(日)

### (6) 第2回西谷館長写真展

内容：海の道むなかた館長・西谷正が撮影した写真展。テーマは「百済の山城」

会期：12月11日(火)～1月4日(金)、1月19日(土)～3月22日(金)

### (7) 宗像地区児童絵画展

内容：「福岡県入選作品」のうち、宗像市と福津市の小学生の作品を展示

会期：1月5日(土)～17日(木)

### (8) むなかたものづくり展模型作品入賞作品展示

内容：むなかたものづくり展での公募作品での各部門入賞作品を展示

会期：3月26日(火)～5月6日(月・振休)

## 5. 3Dシアター

通常は上陸することができない沖ノ島の島内の様子を3D映像でリアルに見ることができる。その他に、宗像大社の神事の映像や歴史アニメも上映している。

### (1) 3D映像

#### ①『『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群』(上映時間：11分)

500年にも及ぶ国家的祭祀、祭祀を担った宗像氏、神に捧げられた8万点もの宝物、宗像三女神の誕生、今も息づく宗像大社の信仰など、世界的な資産価値を有する「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群をわかりやすく解説する。



#### ②「宗像大社の神事—人々の信仰と祈り—」(上映時間：13分)

沖津宮の田心姫神と中津宮の湍津姫神の神輿を載せた2隻の御座船と宗像七浦の船団により繰り広げられる「みあれ祭」をはじめ、古代の信仰を今に引き継ぐ宗像大社のさまざまな神事を紹介する。



#### ③「沖ノ島の自然—太古の姿をそのままに—」(上映時間：8分)

沖ノ島全島は、1926年(大正15年)に国の天然記念物に指定されており、現在も禁忌によって人の往来が制限されているこの島では、絶滅が危惧されている植物が繁殖し、市の鳥でもあるオオミズナギドリの一夫繁殖地となっていることなどを紹介する。



#### ④アニメ「海の民ムナカタ」

マンガ「海の民宗像」(梓書院)を原作とし、古代において日本と大陸との活発な対外交流の舞台であった宗像の歴史や宗像の海に生きた人々について紹介する。(フィクション)

- 第1話—「玄界灘の守り神」(上映時間：9分)
- 第2話—「海人の都ムナカタ」(上映時間：7分)
- 第3話—「ムナカタとヤマトをつないだ海人」(上映時間：13分)
- 第4話—「玄界灘の軍神」(上映時間：10分)
- 第5話—「海の民ムナカタ」(上映時間：11分)



#### ⑤アニメ「海の民ムナカタ」総集編(上映時間：18分)

総集編では、弥生時代から奈良時代にかけて大陸からの影響を受けながら大きく変化していく時代に生きた宗像の人々の心情や動向を描いている。

平成30年度3Dシアター視聴者数一覧表

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
視聴者数	2,515	3,369	3,368	2,695	2,304	3,008	3,400	3,587	1,608	2,692	1,695	1,861

合計：32,102人

### (2) VR

沖ノ島の全貌を8Kで撮影。専用のゴーグルをつけて仮想現実体験をすることができる。  
(株式会社NTTドコモから無償貸与を受け、平成30年の正月イベント時から視聴開始)

平成30年度VR視聴者数一覧表

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
視聴者数	200	231	123	65	112	26	49	18	47	44	43	55

合計：1,013人

## 4 体験学習

### 1. 古代体験学習

原則、毎週土・日曜日、祝日、イベント等で実施。

#### ○勾玉づくり

内容：爪でも削れるやわらかい石（滑石）を使用し、粗さの違う3枚の紙やすりで削って作る。イベント等では、ピンクや黒の石も用意し「選べる勾玉づくり」として開催した。

料金：100円（選べる勾玉づくりは100円～200円）

#### ○古銭鑄造体験

内容：宗像市三郎丸今井城遺跡から出土した、和同開珎、万年通宝、神功開宝をモデルに製作した型と低温で融解する金属を使って古銭を作る。

料金：100円

#### ○火おこし

内容：マイキリという道具を使って火おこしを行う。

料金：100円

#### ○土笛づくり

内容：光岡長尾遺跡から出土した土笛をモデルに、オープン粘土を使って土笛を作る。

料金：100円

#### ○古代アートでエコバッグづくり

内容：古代に描かれた文様や装飾古墳について学んだ後に、布バッグに文様スタンプに押してエコバッグを作る。

料金：100円

平成30年度 古代体験学習参加人数月別集計表（定例および団体の体験）（単位：人）

	勾玉づくり		古銭鑄造		火おこし		土笛づくり		エコバッグづくり	
	有料	無料	有料	無料	有料	無料	有料	無料	有料	無料
4月	18	—	14	—	0	—	3	—	17	—
5月	76	92	5	—	2	53	9	—	2	—
6月	183	703	1	—	3	—	6	—	12	—
7月	81	—	28	—	8	—	2	—	16	—
8月	—	—	0	—	0	—	0	—	19	—
9月	45	—	7	—	0	—	24	—	1	—
10月	28	—	0	—	0	—	2	—	0	—
11月	123	—	6	—	3	—	0	—	0	—
12月	59	—	4	—	0	—	15	—	17	—
1月	19	81	35	—	0	—	15	—	7	—
2月	21	85	3	—	1	—	15	—	7	—
3月	15	—	0	—	0	—	4	—	6	—
小計	879	961	103	—	17	53	95	—	104	—
合計	1,840		103		70		95		104	

※表の無料体験は、市内小・中学校の社会科見学での体験

表合計	2,212
その他の特別体験学習	613
総計	2,825

※その他の特別体験学習の詳細は、P12～13を参照

## 2. 特別体験学習

	体験名	日程	参加人数	内容	料金
1	選べる 勾玉づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月3日(木・祝)～6日(日)</li> <li>・7月26日(木)～8月23日(木)の火・木曜日</li> <li>・10月6日(土)～8日(月・祝)</li> </ul>	350人	白や黒、ピンクの滑石を使用して勾玉を製作	(白) 100円 (黒・ピンク) 200円
2	化石発掘体験	5月3日(木・祝)～6日(日)	41人	宗像市吉留でサイの祖先とされる日本最古の「ヒラキウス」の化石が発見されたことから、化石発掘を体験	100円
3	美しい鉱物の魅惑を探ろう (新修宗像市史編集委員会主催)	7月28日(土)	21人	実際に鉱物に触れ、その形や色などの説明を聴きながら鉱物を観察した後、水晶等に現れている結晶面とその角度などを計測	無料
4	子ども考古学教室 ～目指せ未来の考古学者!～	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 7月28日(土)</li> <li>② 8月4日(土)</li> <li>③ 8月11日(土・祝)</li> </ul>	5人	①「考古学入門」②「遺跡を見学しよう」③「学芸員の仕事を体験しよう」の3回シリーズ。本物の土器などを題材に、歴史の話を聴いて海の道むなかた館・特別収蔵庫などを見学	無料
5	トヨタ自動車九州モノづくり教室 ～電力回生自動車～	7月29日(日)	台風のため 中止	トヨタ自動車九州モノづくり教室と協働で開催。モーターと発電機の仕組みを学んだ後、自動車模型を製作	無料
		3月23日(土)	27人		
6	蝶の話を聞いて、キアゲハの幼虫を育てよう! (むなかた電子博物館主催)	7月29日(日)	台風のため 中止	電子博物館を使って蝶や蝶の育て方について学習	100円



▲子ども考古学教室



▲ねがい旗を作ろう!

	体験名	日程	参加人数	内容	料金
7	化石が語るメッセージを知る (新修宗像市史編集委員会主催)	8月4日(土)	19人	地中に残された化石を手に取り、説明を聴きながら生命の歴史について学んだ後、石膏を使って化石の形をかたどり	無料
8	みあれ祭の話聞いて ねがい旗を作ろう!	8月5日(日)	16人	福岡教育大学美術教育教室と協働で開催。みあれ祭の歴史について学んだ後、船を模した木材にねがい旗を製作	300円
9	昔の銅鏡を作ろう!	8月18日(土)	11人	昔の鏡の役割について学んだ後、銅鏡を製作	300円
10	沖ノ島出土の古代ガラスを 学んでアクセサリーを作ろう!	8月19日(日)	14人	粹工房と協働で開催。ガラスにまつわる歴史を学んだ後、ガラス玉を作り、アクセサリーに仕上げ	500円
11	親子ロボット組立体験教室 (山梨市ワイン振興会)	3月24日(日)	11人	むなかた模型作品展示会で実施。親子で力をあわせて、飛行機の模型(プラモデル)を製作	無料
12	ロボシシ工作教室 (株式会社イーケイジャパン)	3月24日(日)	20人	むなかた模型作品展示会で実施。太陽電池を搭載し、モーターからギアに力が伝わる様子が見える構造のイノシシ型ロボットを作り、その仕組みを学習	1,800円
13	ペーパークラフト絵馬体験	1月1日(火・祝) ～3日(木)	78人	福岡教育大学美術教育講座と協働で開催。イノシシのイラストに色を塗り、組み立てて、スタンド型の絵馬を製作した。また、参加者には先着で木製のオリジナル絵馬をプレゼント	無料
参加人数合計			613人	* 有料体験 452人 * 無料体験 161人	



▲アクセサリーを作ろう!



▲親子ロボット組立体験教室

## 5 講座

### 1. 館長講座

概要：西谷正館長による講座を毎月1回開催。平成30年度は「日本古代史の諸問題～九州を中心として～」をテーマに、日本列島の原始・古代のうち、弥生時代から奈良時代にわたる時代の重要テーマについてわかりやすく説明した。

回数：12回

会場：海の道むなかた館・講義室

受講者数：延べ889人

回数	月日	内容	受講者数
第1回	4月8日(日)	首長墓の出現と王墓の形成過程	84人
第2回	5月13日(日)	奴国の王墓と「漢委奴国王」金印	73人
第3回	6月3日(日)	墳丘墓と前方後円墳	73人
第4回	7月8日(日)	巨大古墳と技術革新の世紀	79人
第5回	8月12日(日)	ガラスの来た道	73人
第6回	9月9日(日)	筑紫君磐井(いわい)の乱の背景	82人
第7回	10月7日(日)	装飾古墳と高句麗の壁画古墳	73人
第8回	11月11日(日)	元岡G6号墳出土の庚寅年銘金象嵌大刀	71人
第9回	12月9日(日)	大宰府の成立過程	74人
第10回	1月13日(日)	古代山城の諸問題	75人
第11回	2月10日(日)	泰山における封禪	68人
第12回	3月10日(日)	日本出土のイスラム陶器	64人

## 2. 西谷館長ギャラリートーク

概要：正月三が日に、毎年恒例の西谷正館長によるギャラリートークを行った。

テーマ：「宗像大社と宮地嶽古墳をめぐって」

日程：1月1日(火・祝)～3日(木) 10:00～11:00

演題：

1日(火・祝)	宗像社の起源
2日(水)	宗像宮と鎮国寺
3日(木)	宮地嶽古墳と倭国・日本国

受講者数：計95人

## 3. 出前講座(ルックルック講座)

内容：宗像地域の歴史や世界遺産などを、映像やパネル等の資料や体験などを交えながら学習

受講団体数：22件

受講者数：1,034人

実施日	団体	受講者数
4月25日(水)	むなかた歴史を学ぼう会	25人
6月16日(土)	福岡県立宗像中学校	77人
6月17日(日)	須恵区(公民館)	25人
6月17日(日)	岬地区コミュニティ運営協議会	19人
8月21日(火)	宗像市立東郷小学校第一学童	31人
8月21日(火)	宗像市立東郷小学校第二学童	61人
8月23日(木)	むなかた歴史を学ぼう会	17人
9月13日(木)	宗像市立自由ヶ丘南小学校	62人
9月25日(火)	宗像市立自由ヶ丘南小学校	62人
9月28日(金)	宗像市立玄海中学校	40人
11月7日(水)	宗像市立自由ヶ丘小学校4年生	95人
11月16日(金)	宗像古道プロジェクト	20人
11月24日(土)	宗像市立赤間小PTA赤間っ子フェスタ委員	69人
1月22日(火)	宗像市立赤間小学校3年生	165人
1月23日(水)	宗像市立玄海小学校	9人
1月31日(木)	むなかた歴史を学ぼう会	25人
2月1日(金)	宗像市立日の里東小学校3年生	45人
2月8日(金)	宗像市立日の里西小学校3年生	58人
2月15日(金)	宗像市立南郷小学校3年生	28人
2月18日(月)	宗像市立日の里東小学校3年生	45人
3月16日(土)	玄海地区コミュニティ健康福祉部会ヘルス推進委員会	39人
3月29日(金)	むなかた歴史を学ぼう会	17人

## 6 各種イベント

### 1. ゴールデンウィーク特別体験学習

日程：5月3日(木・祝)～6日(日)

内容：選べる勾玉づくりや化石発掘体験を実施。また、展示室など館内の展示物をヒントにクイズに答えるクイズラリーも行った。

### 2. 夏の課外授業(夏休み特別体験学習)

日程：7月26日(木)～8月23日(木)

内容：毎年恒例の選べる勾玉づくりに加え、トヨタ自動車九州によるモノづくり教室やガラスのアクセサリ作り、子ども考古学教室などを開催した。

### 3. 宗像大社みあれ祭陸上神幸

日程：10月1日(月)

内容：宗像大社の海上神幸(みあれ祭)の後、地元のコミュニティや小中学生、宗像大社氏子青年会などの奉仕者が、奉行や巫女、稚児の衣装を身に纏い、玄海コミュニティ・センターから辺津宮一の鳥居まで、宗像三女神のご神体を乗せた神輿を担いだ。

### 4. 正月イベント

日程：1月1日(火・祝)～3日(木)

内容：西谷正館長による正月特別館長講座やペーパークラフト絵馬体験、獅子舞などを実施。また、1日から、漫画家・星野之宣氏の宗像教授シリーズと考古学がコラボした特別展「宗像教授帰省録」を開催し、特別展と連動したクイズラリーも行った。

### 5. むなかたものづくり展

日程：3月23日(土)、24日(日)

内容：昨年まで開催していた「むなかた模型作品展示会」に宗像の工芸や食品などのものづくりの要素を加えた新しいイベントとして開催。協力団体・企業による体験教室やワークショップなどを実施した。また、正面玄関横芝生広場では、「宗像おいしいもの市」を開催し、宗像の食材を使用した軽食や商品の出店も行った。



▲ 夏の課外授業



▲ むなかたものづくり展

## 6. ミュージアムコンサート

2カ月に1回(奇数月)、館への集客と文化振興のため、宗像にゆかりのあるアーティストや団体等を招き、コンサートを開催した。

### (1) Vol.35 ～夢見るクラシック～朝来桂一ヴァイオリンコンサート

日 時：5月18日(金) 18:30～19:30

出演者：【ヴァイオリン】朝来 桂一【ピアノ】中川 歩美

演 目：愛の挨拶、テンポ・ディ・メヌエット、タイスの瞑想曲 他

参加者数：116人



Vol. 35 朝来桂一  
ヴァイオリンコンサート

### (2) Vol.36 ～大陸からの贈り物～二胡演奏会

日 時：7月20日(金) 18:30～19:30

出演者：馬 洪陽、二胡教室のみなさん

演 目：川の流れるように、夜来香、蘇州夜曲 他

参加者数：143人



Vol. 36 二胡演奏会

### (3) Vol.37 ～心弾む♪華麗デュオ～SONO

日 時：9月21日(金) 18:30～19:30

出演者：SONO(【ピアノ】奥村 真衣【マリンバ】木下 昌子)

曲 目：白鳥の湖より「ワルツ」、夏の思い出、月の光 他

参加者数：95人



Vol. 37 SONO

### (4) Vol.38 ～旅心誘う極上のしらべ～

#### 贅沢な大人時間…Piano&Guitar

日 時：11月16日(金) 18:30～19:30

出演者：【ピアノ】岩崎 大輔【ギター】橋口 武史

演 目：放課後の音楽室、ポル ウナ カベサ、ガボットショーロ 他

参加者数：98人



Vol. 38 贅沢な大人時間 Piano&Guitar

### (5) Vol.39 ～新春特別企画～絵本画家 清水耕蔵の世界 Part II

日 時：1月18日(金) 18:30～19:30

出演者：【朗読】まつざき さなえ【ピアノ】古木 雅士

曲 目：かぐや姫、つちのなかのあばれんぼう、海神島 他

参加者数：60人



Vol. 39 清水耕蔵の世界

### (6) Vol.40 ～春呼ぶしらべ～トロンボーンとピアノによる演奏会

日 時：3月22日(金) 18:30～19:30

出演者：【ピアノ】二羽 正行【トロンボーン】田代 泰地

曲 目：ラッサストロンボーン、さくらさくら幻想曲、剣の舞 他

参加者数：60人



Vol. 40 トロンボーンと  
ピアノによる演奏会

## 7 他のイベントとの連携

市内にある施設での事業連携を積極的に行い、館のPRや郷土文化の紹介に努めた。

### 1. 福岡県立宗像中学校・高等学校文化祭

日程：6月2日(土)  
場所：宗像中学校・高等学校  
参加人数：50人(勾玉づくり)

### 2. 玄海わくわくチャレンジデー

日程：11月23日(金・祝)  
場所：福岡県立玄海少年自然の家「玄海の家」  
参加人数：60人(勾玉づくり)



▲宗像中学・高校文化祭での勾玉づくりの様子

## 8 むなかた電子博物館

### 1. 月間ページビュー

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
29年度	5,117	9,643	8,922	10,167	6,335	8,042	7,244	6,579	4,834	7,800	7,107	7,380	89,170
30年度	7,927	7,896	9,180	3,758	6,345	4,395	5,315	4,775	3,365	4,282	3,674	3,413	64,325

### 2. イベントの開催

#### (1) 北斗の水くみ写真展

「北斗の水くみ」、「北斗七星」の姿を写した画像データを広く募集し、受賞作品をむなかた電子博物館と海の道むなかた館で展示した。

募集期間：8月1日(水)～10月31日(水)

応募作品：17点

#### (2) 夏の課外授業「蝶の話を聞いて、キアゲハの幼虫を育てよう！」

蝶や蛾の育て方について電子博物館を使って学ぼうと企画したが、台風のため中止となった。

日程：7月29日(日)【台風のため中止】

場所：海の道むなかた館

#### (3) プラネタリウムと北斗の水くみ海浜公園で星空ウォッチング

宗像ユリックスのプラネタリウムで北斗の水くみについて解説し、北斗の水くみ海浜公園で天体望遠鏡を使って観望会を行った。

日程：11月10日(土)

場所：宗像ユリックス・プラネタリウム、北斗の水くみ海浜公園

参加人数：21人

## 9 文化財保護事業

### 1. 埋蔵文化財

宗像市では、土木工事等の開発事業から埋蔵文化財を保護するため、開発予定地における埋蔵文化財の有無を確認し、保存のための協議・調整を行っている。

平成30年度は埋蔵文化財の有無の照会を1,143件受領。前年度比約110%で、右肩上がりの上昇傾向が続いている。このうち、埋蔵文化財の有無が確認できていなかった36件について、試掘・確認調査を実施した。

内 容	H 26年度	H 27年度	H 28年度	H 29年度	H 30年度
事前審査	689	919	945	1,037	1,143
試掘・確認調査	26	28	13	17	36
文化財保護法93条 1項に基づく届出	28	28	27	21	28
文化財保護法94条 1項に基づく通知	1	0	1	0	1
文化財保護法99条 1項に基づく施行	1	1	3	3	1

### 2. 指定文化財の新指定・現状変更

#### (1) 新指定の文化財

平成30年度、新たに1件を市指定無形民俗文化財に指定した。

区 分	名 称	指定年月日	内 容
市指定無形民俗文化財	八所宮神幸行事	9月28日	八所宮の神幸に関する行事

八所宮神幸行事は、毎年10月第3土・日の両日をまたぐ夜間に開催。五穀豊穡と無病息災を祈る吉武地区の伝統行事で、古くは『八所大明神御縁起』(天明3(1683)年)に記載されている。行事を構成する諸神事のうち、神幸行列は吉武地区の住民を中心とした約200人が参加し、なかでも特筆されるのは大名行列である(写真右)。この行事の形態は江戸時代以来の神幸の形を現代まで良好に伝えており、八所宮のみに留まらず吉武地区の歴史と伝統を色濃く示している。



## (2) 現状変更を行った指定文化財

市内にある国指定文化財に関して、文化財保護法第 125・168 条に基づく現状変更を 11 件、現状変更の計画変更を 1 件受領。このうち 5 件は文化庁、7 件は文化財保護法施行令に基づき宗像市教育委員会（\*印）が許可した。

指定名称	変更内容
国史跡 宗像神社境内（沖ノ島）	沖ノ島灯台管理道補修
国天然記念物 沖の島原始林（沖ノ島）	ネズミ類生息調査 *
国史跡 宗像神社境内	辺津宮安全施設整備工事 *
	中津宮・沖津宮遙拝所看板設置
	辺津宮倉庫建設
	織女神社・御嶽宮参道鳥居更新 *
	辺津宮雨水管渠設置 *
	斎館建替確認調査
	中津宮取水設備計画変更 *
国史跡 田熊石畑遺跡	市道整備 *
	電柱設置 *
	公園整備

## 3. 文化財の調査

市では、沖ノ島祭祀に関連する可能性がある遺跡と認識されている浜宮貝塚の内容を確認するため、平成 30 年度～令和 2 年度の 3 年間で発掘調査を実施する。平成 30 年度は、遺跡範囲確認のための発掘調査を神湊 1242-73 外 2 筆で実施した。4 本のトレンチを設定して調査を行った結果、遺跡の東西幅はこれまで認識されていた範囲より狭くなる事が分かった。

また、遺跡北端に近い 4 号トレンチでは、竪穴建物 5 基と不明遺構 1 基を検出し、6 世紀代を主とする土師器、須恵器、骨角器、鉄製品、貝類等が出土した。併せて、地形調査により遺跡南側に土塁らしきものが東西方向に築かれていることが分かった。

## 4. 田熊石畑遺跡歴史公園の利活用状況

弥生人の生活を体験する周年祭イベントや菜花園での水田運営とその収穫を祝う秋祭りを開催した。また、寄合い処で開催する歴史講座では遺跡の調査・研究の最前線を担う県下の文化財職員などを講師に招くことで新味のある講座を開催できた。このほか、地域の歴史文化の担い手である小学生を対象に村っ子づくり事業を開催、宿題指導のほか、いせきんぐ宗像ならではの歴史体験学習、菜花園でのイモ植えなどを実施した。

(単位：人)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H28	1,845	1,693	1,077	11,334	696	1,213	1,256	2,291	1,118	1,302	1,272	1,911	27,008
H29	1,601	1,681	1,853	10,181	1,073	1,370	1,711	2,320	1,994	1,264	1,306	2,160	28,514
H30	1,423	1,785	1,971	10,276	850	1,145	1,997	2,058	1,407	1,758	1,361	2,098	28,129

**(3) イベント****① いせきんぐ宗像紙飛行機教室**

日程：7月11日(水)・12日(木)・29(日)・30日(月)

内容：いせきんぐ宗像で競技用紙飛行機づくりと全日本紙飛行機選手権大会予選会を開催した。

参加人数：70人

**② いせきんぐ宗像周年祭マンスリーイベント**

日程：7月1日(日)～29日(日)

内容：開園3周年記念イベントとして、期間中の土・日曜日と祝日に土器づくり・勾玉づくりなどの古代人の暮らし体験を竪穴住居内で行った。7月21日(土)に開かれた「夏まつり東郷2018」では歴史体験ブースを設置し、弓矢体験や原始はたおり体験を実施した。

参加人数：305人

**③ いせきんぐ宗像秋祭り2018**

日程：11月18日(日)

内容：菜花園で収穫した赤米やイモなどの収穫を記念し、古代食体験や弓矢体験、原始はたおり体験、コーラスや紙芝居などのステージイベントを実施した。

参加人数：300人

**④ いせきんぐ宗像歴史講座**

日程：第1回＝9月29日(土)、第2回＝10月13日(土)、第3回＝11月10日(土)

内容：第1回「邪馬台国研究の新視角」／講師＝邪馬壹国研究会宗像会長・高橋誠也他3人

第2回「土笛が奏でる宗像の歴史」／講師＝福津市文化財課・松永通明

第3回「水沼君と宗像君」／講師＝久留米市文化財保護課・熊代昌之

参加人数：100人

**⑤ 村っ子づくりいせきんぐ事業**

日程：毎週火曜日・金曜日(ただし、祝日と振替休日、学校休み期間は除く)

内容：寄合い処での市内小学生の宿題指導、見守り、昔遊び、歴史体験学習を開催。福岡教育大学学生ボランティアも参加した。

参加人数：延べ561人



▲いせきんぐ宗像秋祭り



▲村っ子づくりいせきんぐ事業

## 10 新修宗像市史編さん事業

本市では「新修宗像市史編さん基本方針」に基づき、新修宗像市史編集委員会と協働で新修宗像市史を編集し、『新修宗像市史うみ・やま・かわー地理・自然ー』を刊行した。

### 1. 宗像市史編さん審議会

宗像市附属機関設置条例に基づき、学識経験者、市民活動団体代表、市民代表等で構成された委員が、市史編さんの基本方針に関し、必要項目を審議する機関である。

#### ○宗像市史編さん審議会委員名簿

任期：平成30年9月1日～令和2年8月31日

	区 分	氏 名	役 職 等
1	学識経験者	西谷 正	海の道むなかた館館長
2		伊崎 俊秋	九州歴史資料館文化財調査室長補佐
3		竹川 克幸	日本経済大学教授
4		森 弘子	太宰府発見塾塾長
5		古川 健一	福岡教育大学教授
6	市民活動団体	清木 達子	宗像歴史観光ボランティアの会
7		辻 洋子	むなかた歴史を学ぼう会
8	市民代表	片岡 俊輔	市民公募

### 2. 新修宗像市史編集委員会

「新修宗像市史編さん基本方針」に基づき、平成30年度は市史編さんに必要な資料の調査および収集を195件行い、執筆及び編集等に関する必要事項の協議を20回開催した。

#### ○新修宗像市史編集委員会委員名簿

平成31年3月31日現在

	職 名	氏 名	備 考
1	委員長	西谷 正	総監修
2	副委員長	森 弘子	民俗・美術・建築部会長
3	委員	竹川 克幸	近世部会長
4	委員	桑田 和明	中世部会長
5	委員	時里 奉明	近代部会長
6	委員・事務局長	伊崎 俊秋	原始・古代部会長
7	委員・会計	中原 剛	現代部会長
8	委員・監査	上野 禎一	自然部会長

# 11 統計

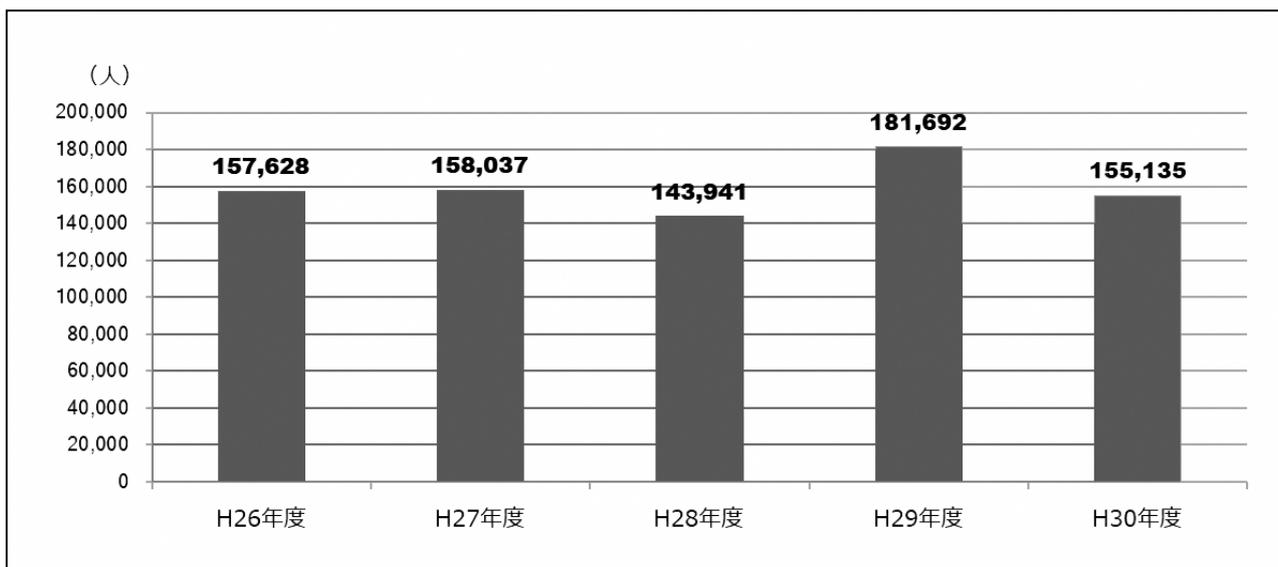
## 1. 平成30年度月別入館者数

(単位：人)

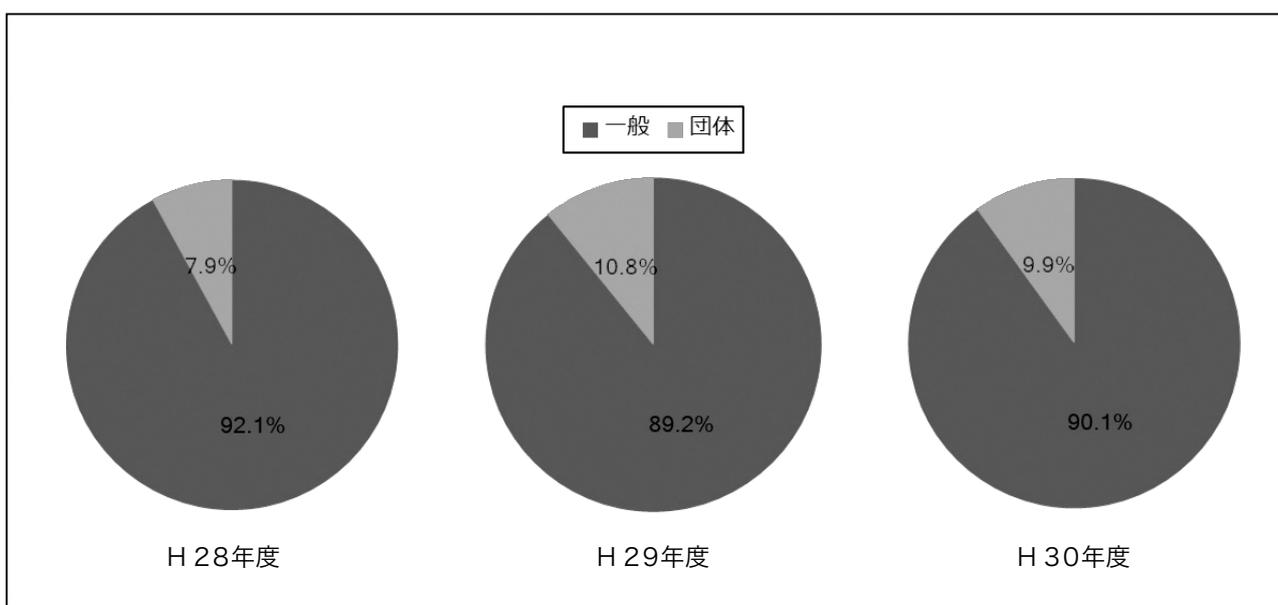
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
12,571	13,908	12,964	11,601	11,042	14,989	15,478	14,245	9,632	13,699	11,122	13,884	155,135

※開館以来の累計入館者数 1,016,700 人 (平成31年3月31日現在)

## 2. 年度別・入館者数の推移



## 3. 年度別・一般および団体入館者数の割合



#### 4. 平成30年度市内小・中学校入館者数

(単位：人)

学校名		学 年	日 程	入館者数
小学校	吉武小学校	6年	6月29日(金)	23
		3年	11月14日(水)	25
	赤間小学校	6年	6月27日(水)	77
			6月28日(木)	75
		4年	10月30日(火)	164
		5年	1月29日(火)	81
	2月5日(火)		81	
	赤間西小学校	4年	11月9日(金)	74
	河東小学校	6年	6月6日(水)	68
			6月7日(木)	70
	河東西小学校	6年	6月22日(金)	90
	南郷小学校	6年	6月26日(火)	47
	東郷小学校	6年	6月13日(水)	116
	日の里東小学校	6年	6月20日(水)	56
	日の里西小学校	6年	5月30日(水)	57
	自由ヶ丘小学校	5年	1月30日(水)	91
	自由ヶ丘南小学校	6年	5月17日(木)	76
	玄海小学校	3年	5月23日(水)	※(1) 34
			10月11日(木)	9
—		10月5日(金)	※(2) 25	
5年		10月11日(木)	※(3) 38	
玄海東小学校	—	11月1日(木)	15	
	3年	5月23日(水)	※(1) 34	
	6年	5月31日(木)	17	
地島小学校	5年	10月11日(木)	※(3) 38	
	3年	5月23日(水)	※(1) 34	
	—	10月5日(金)	※(2) 25	
宗像中学校	1年	6月29日(金)	82	
		9月20日(木)	42	
玄海中学校	1年	9月20日(木)	42	
			合 計	1,533

※は合同事業による来館者数合計

## 5. 平成30年度団体入館者数

○旅行会社・ツアー

(単位：件・人)

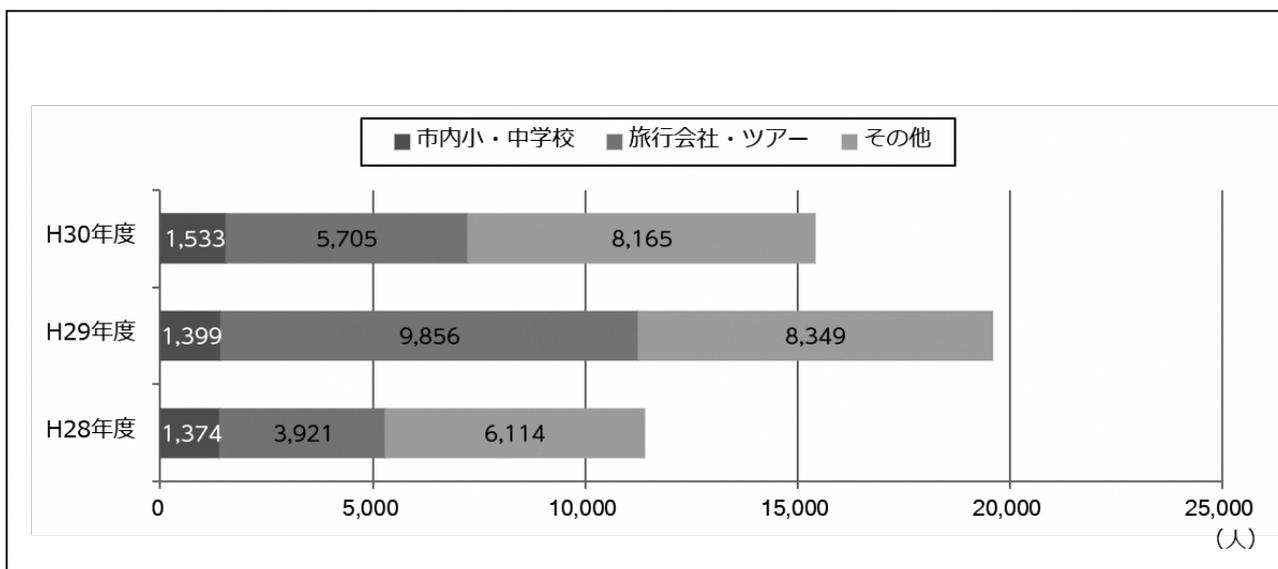
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	16	17	26	18	8	17	20	24	14	13	7	11	191
人数	471	477	769	627	264	599	514	629	449	428	167	311	5,705

○その他の団体(市内小・中学校を除く)

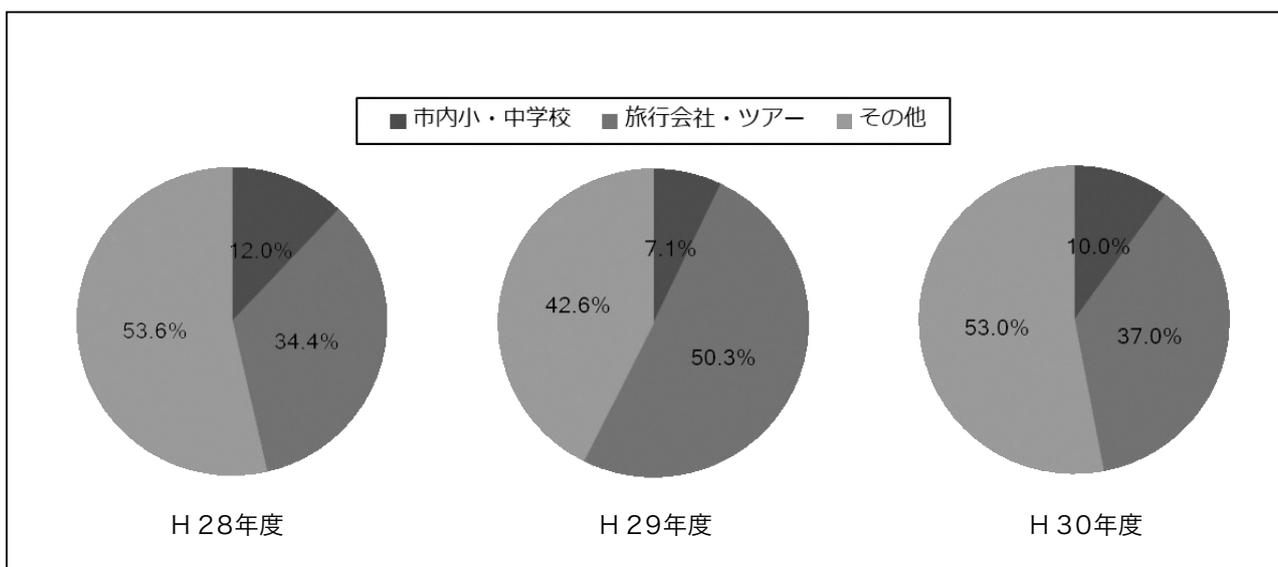
(単位：件・人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	12	24	48	29	14	24	54	68	13	14	18	19	337
人数	209	574	940	784	226	687	1,649	1,817	221	275	343	440	8,165

## 6. 年度別・団体別入館者数の推移



## 7. 年度別・団体別入館者数の割合



## 1. 平成30年度 海の道むなかた館年間スケジュール

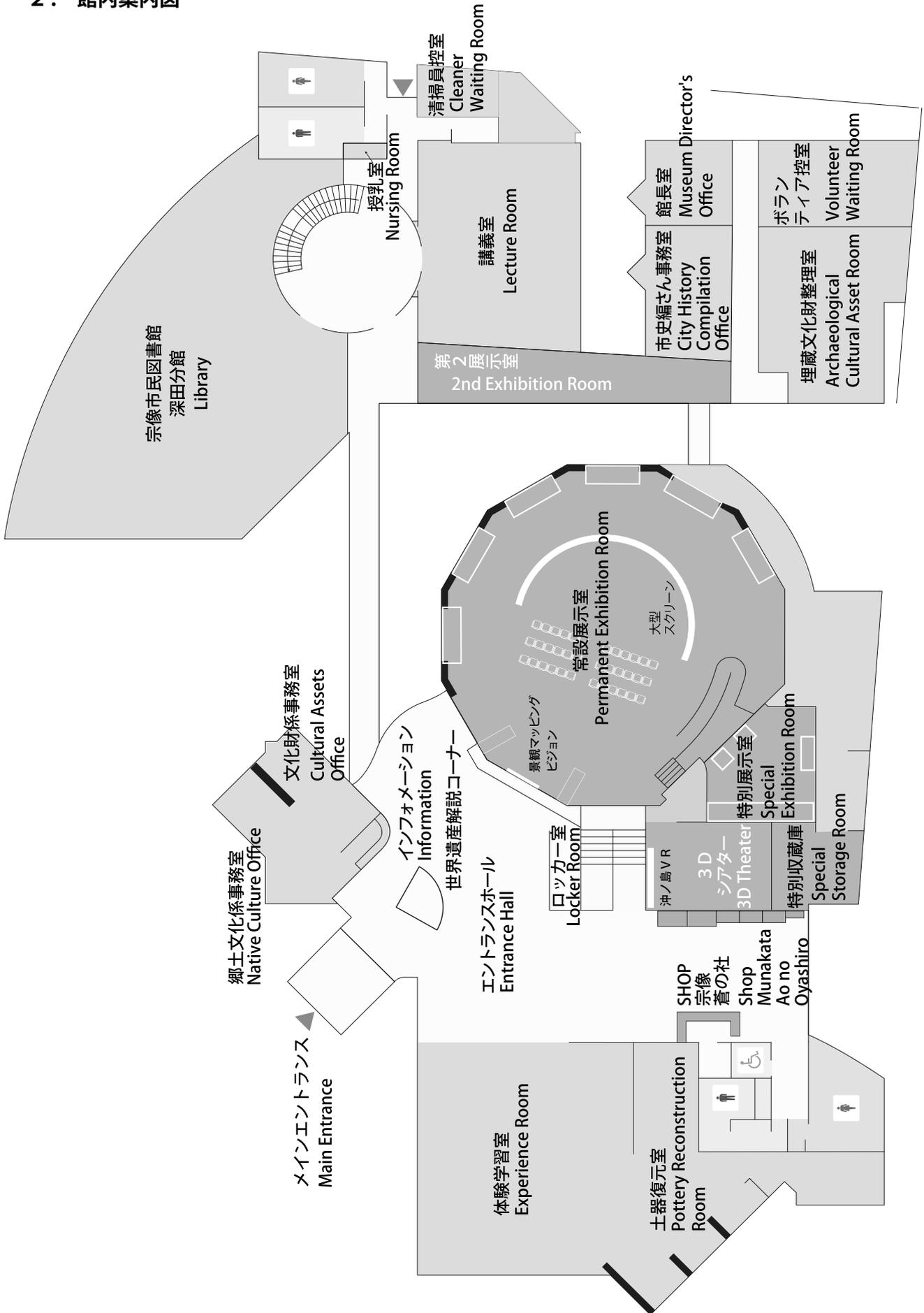
平成30年

	項目	4月	5月	6月	7月	8月
海の道むなかた館	特別展示・企画展示					企画展 「魅惑の鉱物と夢の化石展」
	第2展示室展示	納富賢智 作品展	第1回西谷館長写真展			日伊文化交流 作品展
	館長講座	● 4/8	● 5/13	● 6/3	● 7/8	● 8/12
	ミュージアムコンサート		● 5/18		● 7/20	
	主要イベント		● ゴールデンウィーク 特別体験学習		夏の課外授業 (夏休み特別体験習)	
	協力・関連イベント 他					
世界遺産 関係	イベント等					
その他連携	いせきんぐ宗像				● 紙飛行機教室 ● 夏まつり東郷2018 ● 紙飛行機教室	周年祭 マンスリー イベント
	市内・市外小中学校社会科見学		社会科見学受け入れ			
	その他			● 宗像県立宗像中学校・高等学校文化祭		

平成31年

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				特別展『宗像教授帰省録』		
滝純一絵画展		「わたしたちの水」 絵画コンクール 作品展示	第2回 西谷館長 写真展	第67回福岡 県小学校児 童画展入選 作品展	第2回 西谷館長 写真展	むなかた ものづくり展 模型作品入賞 作品展示
● 9/9	● 10/7	● 11/11	● 12/9	● 1/13	● 2/10	● 3/10
● 9/21		● 11/16		● 1/18		● 3/22
	● みあれ祭陸上神幸			● 正月三が日イベント	● むなかたものづくり展 ●	
				特別展歴史イラストコンテスト		
				● 特別展『宗像教授帰省録』 星野之宣先生来館イベント		
		● 北斗の水くみ 星空ウォッチングを楽しもう		北斗の水くみ写真展作品展		
● 世界遺産劇場		● 世界遺産学習全国サミット				
● 歴史講座	● 歴史講座	● 秋祭り2018				
		● 歴史講座				
社会科見学受け入れ				社会科見学受け入れ		
	● 道の駅むなかた495まつり					
		● 玄海わくわくチャレンジデー				

## 2. 館内案内図





▲エントランスホール



▲体験学習室



▲SHOP 宗像蒼の社



▲3Dシアター



▲常設展示室



▲特別展示室



▲第2展示室



▲講義室



## 海の道むなかた館年報Ⅶ

平成30年度の報告  
～宗像市郷土文化学習交流館年報～

---

発行：令和元年9月1日

発行者：海の道むなかた館

(宗像市郷土文化学習交流館・宗像市教育委員会)

TEL：0940-62-2600 FAX：0940-62-2601

印刷：インプレッション株式会社

TEL：0940-51-2187 FAX：0940-36-9013